

## 土地の凹凸を探ることで湧き出す謎を探し、地形の理解を深める探究

### 1

#### 等高線を知る

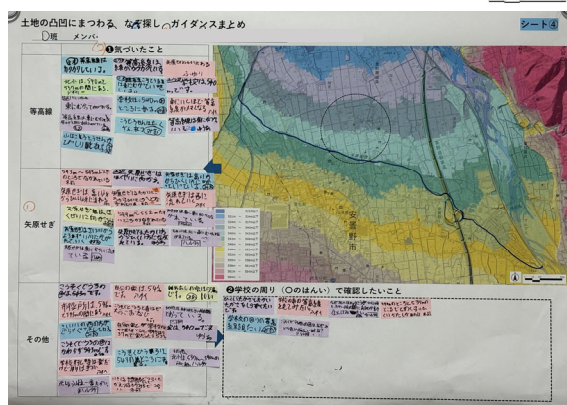
等高線をトレースし、線の意味を理解する



3mごとに色分けした等高線図をもとに学校周辺の凹凸について疑問に思うことを書き出し、グループ単位でまとめ



班ごとに気づいたこと、次回のフィールドワークで確認したいことなどを報告



### 2

#### 地図をもとに現地で謎探し

土地の凹凸と等高線の関係を観察できるエリア2か所を設定。



スタッフが下見を経て、各エリアでの観察や学習内容を検討

各地点でスタッフの案内のもと、様々な視点から観察を実施。



室内に戻り解けた謎、さらなる謎等をグループ単位で整理して、報告し共有。



土地の凹凸を探ることで湧き出す謎を探し、地形の理解を深める探究

3

より広い範囲を対象にして現地で学ぶ

バスであづみの公園へ移動。



あづみの学校玄関ホールで扇状の等高線をトレースし、形の意味を学習。



扇型の等高線の意味や成り立ちの背景を安曇野の模型で学習



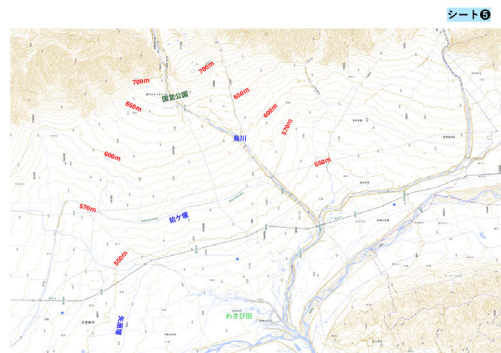
公園の屋外では地形や水をテーマにした観察ポイントを準備し、それぞれの箇所で見つけたり疑問を記入



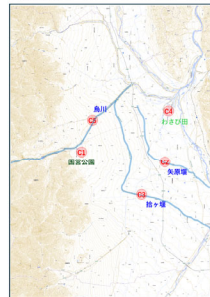
公園での学習を終えたあと、豊科の湧水公園へ移動し、地下水の湧き出す仕組みや、水温、柳の多い環境などを学習。



それぞれの場所でシートを配布して学習



凸凹探検フィールドワーク ワークシート[C]



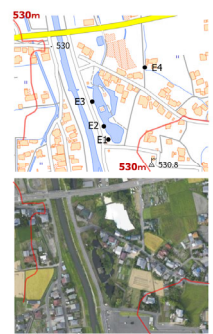
班 名前	
番号	気づいたこと
	わかったこと・知りたいこと
わからないこと・調べたいこと	

凸凹探検フィールドワーク ワークシート[D]



班 名前	
番号	気づいたこと
	わかったこと・知りたいこと
わからないこと・調べたいこと	

凸凹探検フィールドワーク ワークシート[E]



班 名前	
番号	気づいたこと
	わかったこと・知りたいこと
わからないこと・調べたいこと	

# 謎探しウォーク【学校】

豊科北小4年 2025年11月～2026年2月



**謎探しウォーク 矢原堰と等高線**

防災広場（防災公園）の地面からは、一回は見えないけど2層以上は、見えた。防災広場のコンクリートの中央だけひくかったです。

矢原堰の溝を流れている、この川は、矢原堰の下を流れているので矢原堰の奥まで観ています。

矢原堰は構造物です。構造物とは、「等高線に沿って築かれた水路で、流水の勢よりの高さがほとんど変わりません。流量のおかげで、これまで水がなぐ跡を流れるのがなくなった田んぼ（けんぼ）にも水を流れるようになりました。」実は土地が低くて前は高い田んぼになっています。

矢原堰はどのくらいあるの？

矢原堰は高い地層から低い地層の溝を流れていて流れはゆるやかなのだ。

西から東の中心のことをおうぼがたなをいいます。要は約70mの所にうこうせんにきて、物と物がたなっています。ちなみに東側にあるのは、層山という川です。うこうせまでがうこうせなです。

山の標の高さがは550～700mのたかさの550～570mのあいだにC-10のせがあるね？

国家アルプス安曇野公園の水櫃

この魚が泳いでいる水櫃の水は、すべて安曇野の地下水（湧き水）です。その水櫃の奥には、天然の水（湧き水）を利用してむきぼを育てています。この魚の名前（ニジマス、ブラウントラウト、信州サーモン）などの魚を育てています。（天然（湧き水を利用して））

この構造物からわかるのは、北アルプスは、この1の部分が高山です。層山から左側にかけて湧き出でくる、2の部分がおうせがた（層状地）です。この地形からわかるのは、テアルプス

謎探し学習①では、配られた地図を使って安曇野市の等高線を見つけて学習シートにまとめました。みんなでわかったことをまとめて発表しました。発表するときは、とても緊張したけれどスタッフや同じ班の人たちのおかげで等高線のことを発表できました。

地域探検学習②

防災広場の地面から北小の方面を見ると学校の一番が見えない事に気づいた。一番は約5メートルなので学校と防災広場の差は、5メートルということに気づいた。

防災広場の駐車場のところは、平らでした。理由は防災広場を使う人が止まる駐車場が傾いていると、車が止まりにくいからだと思います。

学校の南側の田んぼには、一つの田んぼずつ段があって北に行くほど、どんどん低くなっていった。等高線では北側が低くなっていたので田んぼの段差が関係していると思いました。

**矢原堰ゆっくりの秘密**

ゆっくりのまわりも探検

問題①

これが矢原堰だ！

矢原堰をわかりやすくするために、線を引いていそぞい。

これが扇状地という地形なのだ！

扇状地は上流が扇頂、中流が扇央、下流が扇尾というらしいね

高川扇状地（青色）や、梓川扇状地（赤色）を合わせて安曇扇状地（紫色）と呼ぶらしい。

**湧き水をさがすたび**

湧き水が下から湧き出ている。この水は、1000～2000年の昔の雨水だよ。

わかりやすく扇頂（せんちよう）、扇央（せんおう）、扇端（せんたん）を書いてあるし、色分けされていてどこにあるかわかりやすいね。

扇頂（せんちよう）  
扇央（せんおう）  
扇端（せんたん）

この線の葉っぱみたいなのは、わさびで、下にある水は湧き水だよ。